

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本トムソン株式会社（証券コード:6480）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+

格付事由

- 機械要素部品である直動案内機器、ニードルベアリングの大手メーカー。直動案内機器では転動体にローラを使用した製品に強みを有し、半導体製造装置や電子部品実装機用途で高いシェアを握る。また、ニードルベアリングでは二輪自動車や一般機械用途を主たる需要先とし、国内大手の一角に位置付けられている。近年は販売・生産面のグローバル展開を推進しており、16年2月にベトナム第三工場を竣工、17年1月にベアリングの製造・販売を行う中国のUBC上海を買収した。一方、生産・在庫管理の効率化などにつながる新基幹システムを16年10月からベトナム工場で行先稼働させ、17年5月から本格稼働を予定している。
- 17/3期営業利益は2期連続の減益となる見通しだが、足元の事業環境・受注状況は改善の兆しが見られる。業績に底打ち感が出てきており、当面の収益は底堅く推移すると見ている。ただし、製品需要は産業用機械関連の設備投資動向に左右されることもあり、収益力の一段の強化や収益性の向上が課題である。ベトナム工場の生産拡大による原価低減や新基幹システム稼働による効率性向上といった施策の効果を引き続き確認していく。一方、おおむね良好な財務構成が大きく悪化する懸念は小さい。以上を踏まえて、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 多品種少量生産のもとで幅広い製品在庫を揃え、短納期を実現することで高い収益性を確保するビジネスモデルを推進している。一方で、余剰在庫の見直しや在庫管理の徹底にも注力している。在庫適正化の取り組みにより、たな卸資産は直近ピーク時である12/3期末の355億円から16/3期末は283億円まで削減され、たな卸資産回転期間も短縮した。ただ、14/3期や17/3期第2四半期に見られたように在庫見直しの一貫で比較的大きなたな卸資産評価損・廃棄損が計上されるケースもある。新システム稼働により、在庫リスクの軽減とともに機会損失の極小化が図れるか注目していく。
- 17/3期営業利益は15億円（前期比50.3%減）と2期連続の減益を見込む。営業力強化などによる販売管理費の増加や為替影響に加え、在庫廃棄損や買収費用の計上が影響している。18/3期は足元の受注動向、買収費用の解消などを考慮すれば、増益に転じる公算が大きい。一方、17/3期第3四半期末の自己資本比率は64.6%、DER（リース債務を除いたベース）は0.34倍となった。17/3期はUBC上海の買収などで投資額はやや膨らんでいるが、おおむね良好な財務バランスが維持される見通しである。

（担当）関口 博昭・川越 広志

格付対象

発行体：日本トムソン株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2012年6月21日	2017年6月21日	0.71%	BBB+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債(社債間限定同順位特約付)	50億円	2016年6月16日	2021年6月16日	0.38%	BBB+

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017年2月14日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：関口 博昭
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ(<http://www.jcr.co.jp/>)の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ(<http://www.jcr.co.jp/>)の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日本トムソン株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ(<http://www.jcr.co.jp/en/>)に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル